

# 山本眸古監督講演会

赤坂小梅生誕100年記念ドキュメンタリー映画

## 「小梅姐さん」

福津市在住の山本眸古（ひこ）監督をお招きし、映画に対する想いや、エピソードをお話いただきます。

期日/4月26日(土) 午後2時30分～

会場/潮湯の里夕陽館(福津市津屋崎1-37-17)

整理券/当日9時より先着50名に無料配布いたします。

お問合先=(0940)52-3353(潮湯の里夕陽館)

天性の芸能者としての資質を、若者という生き方を、選択することで開花させた、菅(うぐいす)若者、赤坂小梅、豪胆、そして艶、よみがえる、小梅節の真髄。

＜証言して頂いた方たち＞  
50音順

菊池 淡狂  
鳥倉千代子  
菅原都々子  
辰巳 寿昌  
辰巳 寿徳  
畠山みどり  
原田 直之  
舟木 一夫  
本條秀太郎  
望月 太八  
安井 昌二  
ほか、多くの方たち

ナレーション 水谷八重子

プロデューサー：榎永研一/川井田博幸 監督：山本眸古 撮影：秋葉清功/石田尚之 編集：渡辺幸太郎 音楽：本條秀太郎 VE：阪部卓雄/河崎幸一 レコーディングエンジニア：安森貴樹  
音効：合田享生/下村芳明 整音：森本桂一郎/鹿見島英代 美術：梅野雄一 助監督：由井英/飯島英生 撮影：大仁田加寿 撮影助手：藤幸司/藤田和久 特機：小堤健司 制作総務：豊エリコ  
制作デスク：福澤千文 監制作：木村知弘 編集助手：前里はるか 制作助手：田中佑樹/山本和芽/山本晶子 デザイン：LA+FEMME 技術協力：アウトライン、ザイジデン、藤田撮影事務所  
録音スタジオ：東京テレビセンター 企画：アクティブフェイス 制作：グループ現代 ■制作：山本眸古生誕100年記念映画製作上映委員会 ■記録映画/76分/カラー  
■特別後援：財団法人、日本民謡協会/社団法人、日本歌手協会/有限責任中間法人、日本郷土民謡協会 ■特別協賛：コロムビアミュージックエンタテインメント株式会社/エフコープ生活協同組合

<http://www.koumenhsan.com/100nen/>



# 小梅 姐さん

赤坂小梅 生誕100年記念  
ドキュメンタリー映画



百歳まで生きて唄おう、  
百歳以上になっても唄っていたい、  
その意気であればダメなんですよね。  
唄えなきや  
何にもなりやしない。  
唄うことが  
楽しいんですもの。

赤坂小梅

## 大正・昭和の激動の時代を、唄一筋に生き抜いた稀代の歌手・赤坂小梅の真実。

何十年も歩いてこられた、それも一流の、というね、  
そういう方しか持ち合わせていない香りっていうのは、  
今では多分ないんだと思います

舟木 一夫

あのお体から出てくるお声で黒田節を歌われると、  
何気に全部後ろに行っちゃう感じがしまして、あの迫  
力っていうんですか、やっぱり、あのくらいの体がない  
と唄でみんなを吹き飛ばされないとって(笑)

島倉 千代子

…ついていなければなんにもできない人ですから  
ね。だからお供でいつもついて歩いてまして。  
そんなこときやできやしませんよ。  
炭坑節、黒田節、…、そんなものが好きで、歌が  
好きで、声が良いくて、結構なお話で、それを皆さん  
が、大騒ぎして下さったからこうなったんです  
けどね。ほんとに…

向山 初子 (小梅の姪、付き人)



（挿入曲）  
黒田節  
炭坑節  
正調博多節  
小倉節  
航海ランソ  
ほんとにそうなら  
会津舞榭山  
おてもやん  
浅間の煙  
江刺甚句  
ソーラン節  
久留米をよぼん踊り  
相撲甚句  
里見節  
祝い唄黒田節

生まれ育った筑豊の風土や、芸者修行に明け暮れた  
北九州。激動の東京。終の棲家となった千葉県館山市。  
各地にその足跡を訪ね、一方で、残された唄や映像を  
駆使し、関係者のインタビューなどを交えながら、  
唄を愛し唄に尽くした、女の生き様を描きます。

赤坂 小梅 本名、向山(むかやま)コウメ。  
明治39(1906)年4月、福岡県川崎町に9人姉姉の末っ子として誕生。  
16歳の時に自ら芸者を志し北九州の置屋に。  
通常1年間の芸者修行を3ヶ月でこなし、1年で芸者デビュー、「梅若」を名乗る。  
昭和4(1929)年、小倉を訪れていた野村雨情、藤井清水らに認められ  
レコードデビュー。同6年に上京。同8年、コロムビアから出した  
『ほんとにそうなら』(久保田青二作詞、古賀政男作曲)が大ヒット。  
以来、端唄、舞踊小唄などを含め、多くの流行歌や民謡を  
レコーディングしヒットさせた。NHK紅白歌合戦にも4回出場。  
その豪放磊落な性格から多くの文化人や、政・財界人などに愛され、  
大衆から支持された。また酒豪でも知られ、拾福のいい体型が特徴的だった。  
昭和56(1981)年4月、75歳で引退。晩年は民謡の普及や福祉活動に勤しむ。  
平成4(1992)年1月17日死去。  
紫綬褒章、勲四等宝冠賞受賞。享年85歳。

歌舞伎座



### 「黒田節」「炭坑節」「おてもやん」……

を全国に広め、唄一筋に生き抜いた稀代の歌手・赤坂小梅。NHK紅白歌合戦にも4回出場し、  
多くの、文化人や政・財界人などに愛され、大衆から支持されていました。

この度、福津市在住の山本暉古(ひこ)監督をお招きし、映画に対する想いや、撮影時のエピソード  
思い出話など、お話いただきます。

映画の見どころなどをご参考にされ、ぜひ「小梅 姐さん」をご鑑賞いただきますようお願いいたします。  
今回の講演会は、先着50名(料金無料)で開催いたします。皆さまお誘い合わせの上お越しください。  
当日午前9時から夕陽館窓口にて、整理券を発行いたします。講演会参加ご希望の方は、夕陽館窓口  
にてお受け取りください。

お問合せ 0940-52-3353(夕陽館)